

国労東北自動車支部

責 任 部 長 山 修 司
編 集 教 宣 部
NO,71
2015.10.6

**国労加入
で職場を
変えよう**

9月25付 東労組脱退
22歳の青年が国労加入
宮城県支部小牛田駅連合分会

第2回

東北交運労協 バス部会開催

会津若松



9月24日(木) 会津若松市、東山温泉「御宿東鳳」にて、東北交運労協第2回バス部会が開催され、2014年度「運輸局要請に対する回答」と2015年度「東北運輸局への政策要請事項」などを確認し、終了しました。



2015年度バス部会 制度・政策要求を確認!

前段、会津乗合自動車労組・遠藤委員長の案内で「会津武家屋敷前」停留所から会津まちなか周遊バス「ハイカラさん」に乗り、会津若松地方の交通視察を行いました。その後、マイクロバスで「御宿東鳳」に移動し、第2回バス部会を開催。藤岡事務局長(私鉄総連)の司会で始まり、小池バス部会長(私鉄総連)より「政治状況を見ると安保法案が参議院で採決され、世の中の動きがおかしくなっている。我々現場末端の労働者の生活がどうなっていくのか心配もある。バス部会として、バス産業政策を少しでも前に進めるため、それぞれの産別の垣根を

- 超えて交流することが大切になっているので、よろしくお願ひする。」と主催者を代表して挨拶。来賓として東北交運労協・氏家議長(JR総連)が地域交通政策の重要性を訴えました。協議事項は、
1. 地方バス維持及び活性化
 2. 都市部のバス利便性向上
 3. 貸切りバス運賃・料金
 4. 自動車運送事業者に対する監査の在り方

5. バス運転者の確保・育成について議論をし、バス部会として2015年度制度・政策要求とすることを確認しました。
- 休憩後、15時30分より学習会を開催。講師に会津バス乗合自動車(株) 佐藤俊材常務取締役より「会津バスの取り組み」を中心に話がされ、参加者からも活発な意見が出される中、全日程を終了しました。

II 会津バス 佐藤常務取締役 II
当社は、みちのりホールディングに入って2年になる。独立採算制で他に福島交通、岩手県北バスなど。待つているだけで乗ってくれる状況ではない。地域企業、自治体と組んで様々な取り組みやプロのデザイナーに頼んで広告紙への掲載。定評のある運転士の乗務映像をDVD化し、接遇改善の向上を図り、その波及効果が表れている。それが結果的に賃金アップにつながり、人手不足を解消していくのではないか。成果の分配については、管理職の「公平な評価」が必要でそこが課題になっている。

問1. 仕事上のミスで検討会を見せしめられているところがある。どう思うか。
答. ドライブレコーダーを確認し繰り返し返さないために考える機会を与えることが大切。見せしめはよくない。

問2. 人事評価の「公平な評価」の取り組みは?
答. 課長の評価を部長にやっても良かったがバラバラ。直して加点について統一基準を考えている。※その他、65歳定年や60歳以降の長距離高速便の規制などを考えている。以上